



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 レオン自動機株式会社
コード番号 6272 URL <http://www.rheon.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長兼 経理部長 (氏名) 宮岡 正 (TEL) 028-665-1111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	21,322	9.5	3,051	16.1	3,144	14.4	2,207	43.9
29年3月期第3四半期	19,467	4.9	2,627	19.5	2,749	19.4	1,534	2.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,665百万円(36.7%) 29年3月期第3四半期 1,950百万円(21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	82.43	82.30
29年3月期第3四半期	57.31	57.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	30,382	22,250	73.1	829.54
29年3月期	28,158	20,312	72.1	758.11

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 22,213百万円 29年3月期 20,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	10.00	ー	14.00	24.00
30年3月期	ー	14.00	ー		
30年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,870	5.6	3,560	11.0	3,650	9.0	2,460	15.5	91.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	28,392,000株	29年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,613,423株	29年3月期	1,618,643株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	26,776,604株	29年3月期3Q	26,773,846株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境の改善を背景とした個人消費の緩やかな回復、円安基調や海外経済の回復を背景とした設備投資や輸出の持ち直しの動きなど、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

海外経済におきましては、米国では雇用環境の改善や個人消費の増加により、景気の拡大が継続しました。欧州では、堅調な個人消費と好調な企業業績により緩やかな拡大が継続しました。アジアでは中国で個人消費と輸出は依然として堅調に推移しているものの、金融政策の引き締めに伴って工業生産の増勢が鈍化、固定資産投資がスローダウンしていることから、緩やかな減速へ向かう見通しであります。

当社グループが市場とする食品業界は、消費者ニーズの高度化、多様化に伴う商品のバラエティー化、人手不足を背景とした省人化・省力化などの課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。

このような状況の下で当社グループは、変化する市場環境や経営環境に対応するため、市場動向を調査し、レオロジー（流動学）を基礎とする当社独自の開発技術の商品化およびソフト技術の充実により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は21,322百万円(前年同四半期比9.5%増)、営業利益は3,051百万円(前年同四半期比16.1%増)、経常利益は3,144百万円(前年同四半期比14.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,207百万円(前年同四半期比43.9%増)となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では、食品成形機、仕入商品の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したことにより、外部顧客に対する売上高は8,747百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。

主な要因は、コンビニ向けなどの生産用として、品質アップやバラエティー化に対応した大型ラインおよび、リテールベーカー向け的小型パン生地分割機の売上が増加したことなどです。

また、売上原価率が低下したことにより、セグメント利益(営業利益)は2,830百万円(前年同四半期比21.1%増)となりました。

②食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、製パンライン等の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上は増加しました。現地通貨ベースでは、前年同四半期比8.4%増加しました。円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが106円63銭から111円70銭と円安(4.8%)になったことにより、外部顧客に対する売上高は1,483百万円(前年同四半期比13.6%増)となりました。

主な要因は、中華まん、小籠包、ピザポケット、クッキーなどの生産用として火星人の売上が増加したことなどです。

また、売上原価率が低下したことにより、セグメント利益(営業利益)は103百万円(前年同四半期比48.6%増)となりました。

③食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上は減少しました。現地通貨ベースでは、前年同四半期比1.5%減少しました。円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが118円02銭から128円53銭と円安(8.9%)になったことにより、外部顧客に対する売上高は2,121百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

主な要因は、クノーデル、スコッチエッグなどの伝統食やクッキーの生産用として火星人の売上が増加したことなどです。

また、売上原価率が低下したことにより、セグメント利益(営業利益)は223百万円(前年同四半期比123.8%増)となりました。

④食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したことにより、外部顧客に対する売上高は2,537百万円(前年同四半期比40.6%増)となりました。

主な要因は、中華菓子や月餅・中華まんおよび、ミニパンを生産する火星人の販売が好調だったこと、周辺機器として中華まんの手包み風のヒダをつけることができる「中華まんヒダ付け機」、月餅に卵黄を2個入れることができるオプションなどが、火星人とセットで販売され好調だったこと、大型の「ペストリーライン」、「ブレッドライン」、「菓子パン生産ライン」の販売があったことなどです。

セグメント利益(営業利益)は824百万円(前年同四半期比31.5%増)となりました。

⑤食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカーリーの売上が現地通貨ベースで、前年同四半期比5.8%増加しました。円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが106円63銭から111円70銭と円安(4.8%)になったことにより、外部顧客に対する売上高は6,048百万円(前年同四半期比10.9%増)となりました。

主な要因は、新規顧客および既存顧客へのクロワッサンやフィリング入りパイ製品などの売上が増加したことです。

また、原材料の値上がりにより売上原価率が上昇したことや、前期に販売費及び一般管理費で計上していた貸倒引当金の戻入れ126百万円が、当期は繰入れとなったことなどが影響し、セグメント利益(営業利益)は321百万円(前年同四半期比46.2%減)となりました。

⑥食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種で、外部顧客に対する売上高は384百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。

主な要因は、大手ユーザー向けのパン種の販売が減少したことです。

セグメント利益(営業利益)は82百万円(前年同四半期比18.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,046百万円増加し、15,552百万円となりました。これは、現金及び預金が1,494百万円増加、受取手形及び売掛金が150百万円増加、商品及び製品が162百万円増加、仕掛品が442百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて178百万円増加し、14,830百万円となりました。これは、有形固定資産が91百万円減少、無形固定資産が26百万円増加、投資有価証券が252百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,224百万円増加し、30,382百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて551百万円増加し、6,115百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が233百万円増加、短期借入金が246百万円増加、未払法人税等が114百万円増加、前受金が336百万円増加、賞与引当金が381百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて265百万円減少し、2,015百万円となりました。これは、長期借入金が302百万円減少、繰延税金負債が42百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて286百万円増加し、8,131百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,938百万円増加し、22,250百万円となりました。これは、利益剰余金が1,456百万円増加、その他有価証券評価差額金が171百万円増加、為替換算調整勘定が226百万円増加したことなどによります。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.1%から73.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の決算発表時(平成29年5月10日)に公表いたしました第2四半期(累計)および通期の連結・個別業績予想を変更しております。具体的な内容については、平成29年9月20日に公表しております「業績予想(連結・個別)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第3四半期以降の前提為替レートにつきましては、1米ドル=105円(当初想定レートは107円)、1ユーロ=125円(当初想定レートは115円)としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,359,453	5,853,581
受取手形及び売掛金	3,580,082	3,730,329
商品及び製品	3,221,618	3,384,542
仕掛品	916,053	1,358,222
原材料及び貯蔵品	718,228	762,866
繰延税金資産	485,750	388,560
その他	418,653	312,630
貸倒引当金	△193,721	△238,572
流動資産合計	13,506,120	15,552,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,150,992	13,142,980
減価償却累計額	△8,300,008	△8,417,642
建物及び構築物(純額)	4,850,984	4,725,337
機械装置及び運搬具	7,542,546	7,640,211
減価償却累計額	△5,379,384	△5,663,313
機械装置及び運搬具(純額)	2,163,162	1,976,897
工具、器具及び備品	1,880,603	1,903,903
減価償却累計額	△1,665,819	△1,726,865
工具、器具及び備品(純額)	214,783	177,037
土地	4,758,960	4,750,111
リース資産	98,767	100,103
減価償却累計額	△60,990	△72,045
リース資産(純額)	37,777	28,057
建設仮勘定	8,656	285,497
有形固定資産合計	12,034,323	11,942,939
無形固定資産	208,973	234,975
投資その他の資産		
投資有価証券	957,994	1,210,857
退職給付に係る資産	1,299,626	1,298,847
その他	161,149	147,506
貸倒引当金	△9,867	△4,594
投資その他の資産合計	2,408,902	2,652,616
固定資産合計	14,652,200	14,830,531
資産合計	28,158,320	30,382,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,061,786	1,295,127
短期借入金	1,030,132	1,276,590
リース債務	15,964	12,083
未払費用	426,983	361,564
未払法人税等	374,649	489,453
前受金	1,196,259	1,533,096
賞与引当金	738,363	356,470
役員賞与引当金	45,600	25,600
その他	675,048	765,992
流動負債合計	5,564,787	6,115,979
固定負債		
長期借入金	1,073,762	771,535
リース債務	25,988	18,003
繰延税金負債	645,169	688,136
再評価に係る繰延税金負債	398,310	398,310
訴訟損失引当金	73,278	73,278
資産除去債務	16,399	16,517
その他	48,048	50,129
固定負債合計	2,280,956	2,015,911
負債合計	7,845,744	8,131,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,750	7,060,727
利益剰余金	12,469,551	13,925,741
自己株式	△783,165	△781,138
株主資本合計	26,098,885	27,557,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,993	396,465
土地再評価差額金	△5,531,033	△5,531,033
為替換算調整勘定	△474,709	△248,255
退職給付に係る調整累計額	△21,031	39,571
その他の包括利益累計額合計	△5,801,781	△5,343,251
新株予約権	15,471	36,971
純資産合計	20,312,576	22,250,800
負債純資産合計	28,158,320	30,382,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,467,596	21,322,603
売上原価	10,539,976	11,580,174
売上総利益	8,927,619	9,742,428
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	222,990	217,491
荷造運搬費	516,033	555,000
貸倒引当金繰入額	△124,053	55,193
販売手数料	349,451	386,252
給料及び手当	2,352,174	2,493,976
賞与引当金繰入額	181,055	197,573
役員賞与引当金繰入額	34,200	25,600
退職給付費用	190,168	180,711
旅費及び交通費	340,672	336,645
減価償却費	188,943	182,725
研究開発費	526,598	539,150
その他	1,522,015	1,520,715
販売費及び一般管理費合計	6,300,251	6,691,034
営業利益	2,627,367	3,051,393
営業外収益		
受取利息	2,546	7,955
受取配当金	17,701	19,328
物品売却益	7,794	10,557
為替差益	—	12,657
保険解約返戻金	23,701	6,324
電力販売収益	20,339	18,753
その他	87,296	50,427
営業外収益合計	159,380	126,003
営業外費用		
支払利息	17,105	13,041
為替差損	1,121	—
固定資産除却損	757	7,143
電力販売費用	13,049	11,562
その他	5,256	678
営業外費用合計	37,290	32,425
経常利益	2,749,456	3,144,971
特別損失		
減損損失	292,044	—
特別損失合計	292,044	—
税金等調整前四半期純利益	2,457,412	3,144,971
法人税、住民税及び事業税	712,342	899,981
法人税等調整額	210,755	37,855
法人税等合計	923,097	937,837
四半期純利益	1,534,314	2,207,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,534,314	2,207,134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,534,314	2,207,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195,803	171,472
為替換算調整勘定	160,104	226,453
退職給付に係る調整額	60,454	60,603
その他の包括利益合計	416,362	458,529
四半期包括利益	1,950,676	2,665,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,950,676	2,665,664

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,529,234	1,306,050	1,977,040	1,804,151	13,616,476
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,609,545	32,224	—	90	2,641,860
計	11,138,780	1,338,275	1,977,040	1,804,241	16,258,337
セグメント利益	2,337,553	69,550	99,734	626,953	3,133,792

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	5,456,381	394,737	5,851,119	19,467,596
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	2,641,860
計	5,456,381	394,737	5,851,119	22,109,456
セグメント利益	598,196	101,636	699,832	3,833,625

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス
- (3) アジア……………韓国、中国、タイ、台湾、ベトナム

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,833,625
セグメント間取引消去	△67,477
本社一般管理費(注)	△1,138,779
四半期連結損益計算書の営業利益	2,627,367

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品加工機械製造販売事業(日本)」セグメントにおいて、土地の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては252,304千円であります。

「食品製造販売事業(日本)」セグメントにおいて、土地、建物及び構築物の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては31,059千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,747,574	1,483,085	2,121,198	2,537,461	14,889,319
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,223,966	17,255	3,168	—	3,244,390
計	11,971,540	1,500,340	2,124,367	2,537,461	18,133,710
セグメント利益	2,830,180	103,330	223,187	824,180	3,980,879

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	6,048,618	384,665	6,433,283	21,322,603
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	3,244,414
計	6,048,618	384,688	6,433,307	24,567,017
セグメント利益	321,584	82,487	404,071	4,384,951

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ、アルゼンチン
(2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、エジプト、イギリス
(3) アジア……………中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,384,951
セグメント間取引消去	△153,246
本社一般管理費(注)	△1,180,310
四半期連結損益計算書の営業利益	3,051,393

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。